

1. 「地球観測の推進戦略」の位置づけ

- 「分野別推進戦略・環境分野」の推進方策として
 - 「地球観測の推進戦略」に従い、総合的な地球観測システムの構築に向けて、省庁横断的な取組が必要であり、各国の活動とも連携して国際的枠組である GEOSS 10年実施計画の実現を目指す。
- 「地球観測の推進戦略」において
 - 我が国の地球観測を統合的に推進する恒常的組織として科学技術・学術審議会に統合的な推進組織(研究計画・評価分科会地球観測推進部会)を設置。
 - 推進組織は推進戦略に基づき、地球観測の推進、地球観測体制の整備、国際的な貢献策等を内容とする具体的な**実施方針**を毎年策定。
 - 「総合科学技術会議は、**実施方針とそれに基づく事業の進捗状況について科学技術・学術審議会からの報告を受ける**とともに、必要に応じて関係府省・機関からも報告を受けて総合的な評価を行う等により、**統合された地球観測システムの運用状況をフォロー**」、さらに「地球観測の推進戦略」の見直しを必要に応じて行う」と規定。

2. 統合された地球観測システムの運用状況のフォロー

平成17年度

平成17年8月

地球観測推進部会が「平成18年度・地球観測の実施方針」を策定

平成18年度

各省・各機関が実施

平成18年8月

地球観測推進部会が「平成19年度・地球観測の実施方針」を策定

平成18年12月

平成19年3月

地球観測推進部会が「平成18年度・地球観測の実施方針」に基づく統合された地球観測システムの運用の状況をCSTP・環境PIへ報告

地球観測推進部会が「平成19年度・地球観測の実施方針」をCSTP・環境PIへ報告

平成19年3月

CSTP・環境PIが統合された地球観測システムの運用状況をフォロー

平成19年度の事業と平成20年度実施方針への反映

平成19年度の地球観測の実施方針(概要)

審議過程

- 専門的見地から平成19年度に取り組むべき課題を整理した「平成19年度の我が国における地球観測のあり方」を、関係府省・機関に提示した上で、これに対する対応状況を含めて平成19年度に実施が予定されている取組について調査・検討
- 特に「推進戦略」に示された基本戦略である「利用ニーズ主導の統合された地球観測システムの構築」に向けた戦略的重点化の方針を具体化する観点から、分野間又は府省・機関間の連携を促進する施策について重点的に審議

構成

【分野間及び府省・機関間連携】

地球観測に係る資源の有効活用を図る観点から緊密な連携(複数の府省の連携の下に行われる観測プラットフォームの整備・利用などの施策であって、各府省・機関が必要な資源を協力して確保し、成果である観測データ・情報を共有して利活用を図るもの)が図られていると考えられる施策につき、連携の意義や進め方について審議

連携拠点の設置、運営の促進

1. 地球温暖化分野

関係府省・機関連絡会議、専門家委員会及び環境省・気象庁が運営する事務局(国立環境研究所内に設置)で構成される連携拠点を本年度設置

2. 地震・火山・津波分野

地震調査研究推進本部が定める計画や、科学技術・学術審議会の建議等に基づく連携のメカニズムが機能。これらの事務局を務める文部科学省が橋渡しの役割を担い連携拠点としての機能を果たすことを期待

3. その他

水循環など重点的取組が求められる分野から連携拠点の設置が検討されるべき

具体的施策(括弧書きは実施主体)

1. 辺戸岬スーパーサイト(エアロゾル、オゾン等)の共同運営
(国立環境研究所、海洋研究開発機構、千葉大学 など)

2. フラックス観測タワーの共同運営による二酸化炭素収支等の観測
(森林総合研究所、産業技術総合研究所 など)

3. デジタル通信・放送の障害となる電離圏の擾乱の観測網の構築
(情報通信研究機構、電子航法研究所 など)

4. 温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT)の測定技術の開発
(環境省、宇宙航空研究開発機構 など)

5. 大気汚染などの都市環境のリモートセンシング技術の開発
(情報通信研究機構、東京大学及び国立環境研究所 など)

6. 温暖化・水循環・生態系分野を中心として集中的な処理・管理を行うデータ統合・解析システムの開発
(東京大学、海洋研究開発機構、宇宙航空研究開発機構 など)

7. 資源探査分野などでの利用のため、グリッド技術を利用して分散処理を行うGEO Gridの開発
(産業技術総合研究所、農林水産省、国土交通省 など)

【基盤的事項、5ニーズ、15分野】

国際協力、基盤的技術開発といった基盤的事項、5つの重点ニーズ、15の個別分野について関係府省・機関の概算要求の状況に基づき実施方針を記述

【基盤的事項】(新規・拡充施策の例)

【国際協力】

- 陸域観測技術衛星「だいち」の観測データを含む災害関連情報の共有

【基盤的技術開発】

- 地球環境変動観測衛星(GCOM)のためのセンサ開発
- 海底及び海底下の精密観測・探査機器の開発
- ハイパースペクトルセンサ等の研究開発

【5つの重点ニーズ及び15分野の実施方針】

各分野の観測等の現状分析と、関係府省・機関の個別施策をニーズ・分野毎に整理